

令和8年度 岐阜県産業安全衛生大会

日時

令和8年10月7日(水)13:30～16:20

場所

大垣市情報工房 スイंकホール（大垣市小野4-35-10）



- 主催／(公社)岐阜県労働基準協会連合会・(一社)大垣労働基準協会・(一社)ぎふ総合健診センター
- 共催・協賛／各地区労働基準協会・岐阜県下各労働災害防止協会
- 後援／岐阜労働局

大会次第

開 会 _____ 13:30

大会挨拶 (公社)岐阜県労働基準協会連合会長

来賓祝辞 岐阜労働局長

表 彰 式 岐阜労働局長表彰
(公社)岐阜県労働基準協会連合会長表彰
緑十字賞受賞披露

大会宣言 連合会安全衛生部会長

事例発表 「企業経営の基盤としての安全衛生活動
～4つの安全活動と衛生改善による安全職場づくり～」
株式会社ブリヂストン関工場 工場長
金子 準平 氏

講 演 「働く人の安全と健康の確保について」
岐阜労働局 労働基準部健康安全課長
下田 貴裕 氏

_____ 休 憩 _____ 15:00

特別講演 「熱き心でモチベーションアップ！」
元水泳オリンピック選手
千葉 すず 氏

閉会挨拶 (一社)大垣労働基準協会会長

閉 会 _____ 16:20

大会宣言

岐阜県内における令和7年の労働災害は、休業4日以上之死傷者数が2,247人となり、前年より45人減少した。

また、死亡労働災害は、6人と前年の16人から大幅に減少し過去最少となったが、いずれも50歳以上の方が屋外の一人作業で尊い命を奪われている。

働く人の高齢化等もあり、死傷災害の4分の1が転倒災害、死亡災害の半数が墜落・転落によるもので、これらの転倒、墜落・転落災害とはさまれ・巻き込まれ災害が、引き続き高い割合を占めている状況にある。

本年は死傷災害が増加傾向にあり、4年目に入った第14次労働災害防止推進計画の目標となる「死亡災害の5%以上の減少」及び「死傷災害の増加に歯止めをかけ減少に転じさせること」の達成に向けて、さらなる対策の推進が求められる。

一方、令和7年の県内における定期健康診断の有所見率は59.7%と全国平均を上回る状況で推移している。また、近年では、職場のストレス等によるメンタルヘルス不調、化学物質等による健康障害、夏季を中心に発生が相次ぐ熱中症等、労働者の健康確保が懸念される課題も散見され、健康診断の事後措置をはじめとする適切なフォロー体制の確立と、働く人々の健康意識の向上が重要である。

私たちは、本日のこの大会を契機に、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意のもと、関係者が一丸となって、若者をはじめとするすべての労働者が、心身ともに安全で安心して働き続けられる職場づくりの実現をここに宣言する。

令和8年10月7日

岐阜県産業安全衛生大会



■元水泳オリンピック選手

■プロフィール■

仙台市出身

近畿大学附属中学校

近畿大学附属高等学校 卒業

- 1992年 バルセロナオリンピックに女子自由形選手として参加。
- 1993年 パンパシフィック選手権で200、400メートルの日本新記録を更新する。
- 1995年 アトランタにて開催されたパンパシフィックで200メートル自由形で金メダルを獲得。
- 2000年 現役競泳選手から引退を表明。
- 2002年 山本貴司選手と結婚
- 2004年 山本貴司、すずは「パートナー・オブ・ザ・イヤー2004」に選ばれる。
- 2019年 世界ユネスコ無形文化遺産石州半紙(島根)のPR大使を務める。

現在は4児の母そして、講演会や水泳教室の講師として活躍中。

■主な実績

1991年 パース世界選手権 「女子400m自由形」銅メダル

1995年 アトランタパンパシフィック水泳選手権「女子200m自由形」金メダル